

リン資源リサイクル推進協議会 平成 23 年度事業計画

リンは、植物や動物の生体を構成する主要な元素であるとともに、生命活動の維持に必要なエネルギーの獲得に関する重要な機能を担っているなど、欠くことのできない必須元素であり、化学肥料、工業製品、食品添加物等に、大量にかつ幅広く利用されている。

一方、原料となるリン鉱石は限られた国に偏在しており、このままリンの需要量が増加傾向で推移すれば、今世紀の後半には経済的に採掘可能なリン鉱石が枯渇するというようなシナリオも発表されている。また、近年の世界的な食料需要の増加やバイオ燃料生産等によるリン酸質肥料の需要増大を一因とするリン鉱石価格の急騰等、国内で消費するリンの全量を海外からの輸入に頼っているわが国においては、資源の安定供給面からも不安材料となっている。

このような状況に対処するため、わが国は国内で使用したリンの回収・再利用や、未利用リン資源の利用技術を開発する必要性に迫られている。

リン資源リサイクル推進協議会は、このような背景のもと、都市下水、含リン廃棄物、製鋼スラグ等の未利用リン資源からのリン回収技術や農業及び工業分野における省リン技術の開発促進、工業用リン酸や黄リン製造技術の革新等の技術の検討を行い、リン資源の回収とリサイクルに関する事業化の促進を行うとともに、リンの回収と再利用を円滑に進めるための事業者間連携や再生リンの利用を促進するための施策の提言等について、産学官の幅広い関係者が一体となって、行政の縦割りや民間企業間の壁を越えたオールジャパンのレベルで戦略的かつ総合的な検討を行い、もってリン資源に関する持続可能な循環型社会の構築と地球環境保全に寄与することを目的として、平成 20 年 12 月 18 日に設立した。

平成 20 年度は、設立総会及び記念講演会、ホームページ開設やメールニュースの配信等により協議会としての活動を開始し、NEDO等関係機関との連携や会員等への支援業務等の事業活動、リン資源リサイクルの実現に向けた課題や方策等の検討を行った。

平成 21 年度からは、主として回収から利用までのリン資源リサイクル実現に向けた取組を推進している。具体的には、多様な回収技術や利用技術、関係省庁等それぞれの取組について情報提供と意見交換を行い、関係事業者間のマッチングや関係省庁・機関との連携強化を図ることを目的としたシンポジウムを毎年 2 回開催するほか、先進的なリン資源リサイクル事例の視察や、リン資源のリサイクルに関する活動について、その一層の推進及びそれに従事する者の一層の意欲向上に資するための功績者表彰を行った。

平成 23 年度は、引き続き回収から利用までのリン資源リサイクル実現に向けた取組を一層推進するため、例年開催しているシンポジウム、事例視察、功績者表彰の実施に加えて、事業者によるリン資源リサイクル実現の取組を支援するため、ワーキンググループ形式による検討会の実施、相談・支援業務の充実や会員等が行うリン資源リサイクル推進に関する活動に対する後援・協賛を積極的に行う。

1. 会務の運営

(1) 総会 (1回開催)

1) 第4回総会

開催日：平成23年7月28日(木)

(第5回シンポジウムと合わせて開催)

場 所：東京ビッグサイト会議棟(東京都江東区)

参集者：関係省庁来賓、会員、取材

内 容：平成22年度事業報告及び決算、平成23年度事業計画及び予算、役員の選任、平成23年度リン資源リサイクル推進功績者表彰、その他

(2) 幹事会 (3回開催)

1) 第7回幹事会(平成23年度第1回)

開催日：平成23年5月24日(火)

場 所：日本肥料アンモニア協会 会議室(東京都千代田区)

参集者：役員、事務局、オブザーバー(関係省庁)

内 容：第4回総会議案(平成22年度事業報告及び決算、平成23年度事業計画及び予算、役員の選任、その他)第5回シンポジウム、平成23年度功績者表彰、第2回事例視察、その他

2) 第8回幹事会(平成23年度第2回)

開催日：平成23年10月～11月

場 所：東京都内

参集者：役員、事務局、オブザーバー(関係省庁)

内 容：第6回シンポジウム、第2回事例視察、その他

3) 第9回幹事会(平成23年度第3回)

開催日：平成24年2月～3月

場 所：東京都内

出席者：役員、事務局、オブザーバー(関係省庁)

内 容：平成24年度事業計画及び予算、その他

なお、必要に応じて文書審議による幹事会を開催する。

(3) 企画委員会 (3回程度開催)

開催日：幹事会前の開催を基本とする

場 所：東京都内

参集者：委員、役員、事務局

内 容：協議会の活動計画、内外に対する提言、その他

(4) 監査会

1) 平成 22 年度事業監査

開催日：平成 23 年 5 月 24 日（火）

場 所：社団法人日本有機資源協会 会議室（東京都中央区）

内 容：平成 22 年度事業監査

2. 事業活動

(1) 技術調査事業

本事業は、リン資源リサイクルに関する技術や関係機関の活動状況等の情報収集及び関係機関との情報交換等による連携活動により、リン資源リサイクルに関する調査・検討を行うものであり、平成 23 年度は以下の事業に取り組む。

1) 技術検討会（3 回程度開催）

リン資源リサイクル技術の開発、リン資源の回収側と利用側のマッチング、リサイクル推進における課題、リン資源リサイクルの事業化等、リン資源リサイクル実現のための各種方策等について、会員等によるワーキンググループ形式にて検討を行う。

2) 関係機関等との連携

国際リン・ガバナンス研究会やチームとして参画している水の安全保障戦略機構等の、リン資源リサイクルに関する関係機関等の活動に参加し情報収集を行うとともに、必要に応じて本協議会の活動状況の発信や提言等を行う他、リン資源リサイクルに関する関係省庁の施策や研究機関・関係機関の活動との連携を積極的に行い、情報の共有化や活動の効率化を図る。

(2) 普及啓発事業

本事業は、リン資源リサイクル推進のための情報提供や情報交換等の普及啓発活動を行うものであり、平成 23 年度は以下の事業に取り組む。

1) 第 5 回 リン資源リサイクルシンポジウム

開催日：平成 23 年 7 月 28 日（木）

場 所：東京ビッグサイト会議棟（東京都江東区）

（第 4 回総会と合わせて開催）

参集者：関係省庁来賓、会員、一般、取材

内 容：リン資源リサイクルに関する国内外の動向、各種技術、事業実施例等に関する学識者や民間企業等からの発表及び報告と意見交換、関係事業者のマッチング

2) 第 6 回 リン資源リサイクルシンポジウム

開催日：平成 23 年 11 月 17 日（木）

場 所：主婦会館プラザエフ（東京都千代田区）（予定）

参集者：関係省庁来賓、会員、一般、取材

内 容：リン資源リサイクルに関する国内外の動向、各種技術、事業実施例等に関する学識者や民間企業等からの発表及び報告と意見交換、関係事業者のマッチング

3) 第2回 リン資源リサイクル事例視察

開催日：平成23年10月～11月

場 所：秋田県仙北市環境保全センター（秋田県仙北市）（予定）

参集者：関係省庁来賓、会員、一般、取材

内 容：汚泥再生処理センター（し尿処理施設）におけるリン回収事例等

4) リン資源リサイクル推進功績者表彰

リン資源リサイクルについて、その一層の推進及びそれに従事する会員等の一層の意欲向上に資するために、リン資源リサイクルに関して優れた功績をあげた会員等に対する表彰を行う。

平成23年度リン資源リサイクル推進功績者：仙北市環境保全センター

5) 協議会メールニュースの配信

本協議会活動（会員動向、シンポジウム等の開催案内、事務連絡等）、リン資源リサイクルに係る関係省庁の施策や公募等の情報、関係機関の活動、リン資源リサイクルに関する会員、新聞、情報誌、WEB等からの情報について、電子メールによる提供と共有を行う。

6) ホームページの運営

協議会事務局である社団法人日本有機資源協会ホームページ内の協議会専用ページにおいて、入会案内、協議会案内、会員名簿、行事・イベント等の、本協議会活動の広報を主体としたホームページの運営を行う。

7) その他

報道関係者、一般等からの問い合わせ（協議会の概要や活動、会員等の紹介、入会手続き等）への対応を行う。

(3) 業務支援事業

本事業は、会員等からのリン資源リサイクル推進に関する種々の要請、要望あるいは問合せ等を受けて、その業務を合理的かつ円滑に執行するための支援を行うものであり、平成23年度は以下の事業に取り組む。

1) リン資源リサイクルに関する相談・支援

会員等が、リン資源リサイクルの事業化や研究・開発等を推進する際の様々な課題や知見等について、随時、要請や問い合わせを受けて、情報及び資料の提供、面談指導、役職員等の派遣等を行う。

2) リン資源リサイクル推進活動の後援・協賛

会員等が行うリン資源リサイクル推進に関する活動に対して、会員への優遇の有無等その内容に応じて、幹事会による討議を経て、経費や名義による後援、協賛等の支援を行う。

平成23年度協賛予定事業：日本学術振興会主催、日独共同大学院プログラムシンポジウム
「Biotechnology for Green Growth」

3) その他

関係省庁や連携機関、会員等からの問い合わせへの対応を行う。